

研計 24-3-1b

前回報告以降の研究計画・研究資金検討分科会の活動報告
2018.3.30 分科会委員長 藤井良一

2018年2月20日に第2回分科会を開催し、大型研究計画について検討を行い、以下の方針等を決定した。

- 1) 第24期学術の大型研究計画に関するマスタープラン（マスタープラン2020）を策定することを分科会として正式決定した。公募方針や公募要項の周知時期および公募期間について各々本年11月前後および来年2月頃開始とし、学術会議内外に速やかに周知することとした。2月の幹事会で審議了承され、2月23日にメールニュースで学術会議内外に周知された。周知文は末尾を参照。
- 2) 大型研究計画のあり方に関し、渡辺副会長からの質問「大型だけに限定するのか、大型だけでなく内容の重要度を検討する必要があるのではないか」について議論を行った。結論としては、前回同様に大型施設計画と大規模研究計画という前回の枠組みを継承することとし、規模等を柔軟にするか、中規模研究計画の枠組みを作る努力をするか、については今後検討を続けることとした。
- 3) マスタープラン2020では大改訂を行うこととするが、大改訂の意味するところは、方式や枠組みや対象等も変えることではなく、マスタープラン開始から10年経過するので、長時間経過した計画は大幅に見直すなどリセットし、更に新たな大型研究計画を策定するという意味であることを確認した。
- 4) 融合領域を含む研究領域の設定や評価のあり方、過去の課題の扱い等々について（対象未定：分野別委員会、各部会、学協会、研究機関等に対し）アンケートを行い、策定の方針等を決定していくこととした。
- 5) 様々な課題の洗い出しと検討を進める上で、前期分科会での議論について、前期委員長の相原博昭先生に次回分科会でご教示いただくこととする。（4月2日第3回分科会で）
- 6) 分科会委員の追加（3月幹事会に申請中）
西條 辰義 第1部会員（高知工科大学）
中村 崇 第3部会員（東京大学生産技術研究所）

マスタープラン2020策定に関わる周知文（2月22日幹事会承認、2月23日SCJ配信）

会員・連携会員、学協会、研究機関各位

日本学術会議科学者委員会研究計画・研究資金検討分科会は第24期学術の大型研究計画に関するマスタープラン（マスタープラン2020）を策定することを決定いたしました。大型施設計画や大規模研究計画等の大型研究計画を提案される方々により長い準備期間を持って頂くために、現時点でまず実施することのみをお知らせいたします。マスタープラン策定の方針や公募要項については今後分科会で検討し、本年11月前後に皆様にお知らせする予定です。また公募は2019年2月頃に開始する予定です。

2018年2月22日
日本学術会議科学者委員会 研究計画・研究資金検討分科会